

## 今立 孜 先生（能代山本柔道連盟会長、柔道八段）略歴



1947年能代市生まれ。秋田大学教育学部・柔道部卒業。保健体育専攻。養護学校、小中学校に37年間勤務。2008年退職。能代市家庭相談員を6年間務める。

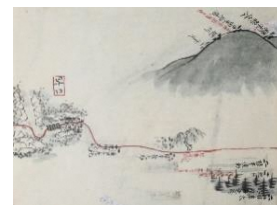
中学1年から本格的に柔道部で稽古。生涯現役を念頭に柔道を生活化している。2005年秋田国体柔道競技で古式の形を演武。日本スポーツ協会公認柔道コーチ3取得。1981年能代弘道館今立道場設立。篤子夫人（柔道女子六段）と二人三脚で門下生650名以上を育てる。中学校柔道部で指導した子や門下生の子弟が二世として入門し、孫のような子どもたちの指導に目を細める。



柔道創始者  
嘉納治五郎

### \*今回講演『オリンピックを前に、柔道を考える』について

NHKドラマ「いだてん」を見ていますか。東京オリンピックを来年に控えて、柔道をはじめ、ラグビー、バレーなど日本でのW杯が目白押し。テレビに釘付けになりました。「見るスポーツ」が確立されつつある感がありますが、この辺でちょっと深呼吸してスポーツのあり方を考えてみませんか。講演者が長年経験してきた柔道をまな板に乗せて武道とスポーツについて考えてみたいと思います。



明治戊辰戦役絵図

## 畑中 康博 先生（秋田県生涯学習課学芸主事）略歴

〈経歴〉

1969年 東京都生まれ

1995年 慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程史学専攻 修了

1998年 秋田県立西仙北高等学校に奉職、角館南高等学校、秋田県公文書館古文書班、秋田県立博物館展示・資料班を経て、現在は秋田県教育庁生涯学習課生涯学習・学芸振興班。職名は学芸主事。主な仕事は秋田県生涯学習奨励員協議会の事務局と全地婦連の担当。

〈専門〉幕末秋田藩政治史、特に戊辰戦争

〈一番新しい論文〉

・「指揮命令系統から見た秋田藩戊辰戦争」（『秋大史学』65、2019年3月）

〈その他〉

・大仙市アーカイブズ 運営審議委員

・大仙市文化財保護審議委員

・フリーペーパー『楽園』（隔月刊）に「畑中康博の古文書パラダイス」を連載

〈趣味〉

夏は弓道、冬はスキー、普段はアイロンがけ

### \*今回講演『新視点 秋田藩戊辰戦争と能代』について

私たちが何気なく眺める稲田の先の遠い山並み、空や海の青さは昔日の人が眺めた風景と何ら変わりはない。

しかし150年前、人間の世界だけが地獄と化した一慶応4年、戊辰戦争。

庄内藩への戦争を命じる新政府に、地方はどのように巻き込まれたのか？

戦争という非日常の事態を、当時の人はどのように記録したのか？

時が経ち「古文書」となった当時の記録を読み解き、人が人を殺す愚かしさ、そして権力の残虐さを学ぶ時間にしましょう。